

就職活動応援特集

■広く環境貢献する仕事
大学では環境プロセス工学を専攻し、今年で入社6年目になります。入社から4年間は汚泥焼却炉、5年目は水処理設備の設計に当たっています。世の中ではカーボン



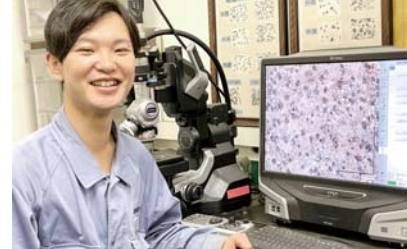
三機工業 環境システム事業部
水エンジニアリング部
水エンジニアリング2課 主任
河津 悠佑さん

ニーズを図面にのせる

役職も担っています。現場の担当者として、現場の試運転を行ったり、設備の試運転を行ったり、業務の流れになります。全体を通じて、お客さまや社内、他部署との意思疎通が大事な仕事です。で、コミュニケーションを密に取るように心がけています。案件によっては年単位になることもあります。現場に足を運ぶ、お客さまの声を聞く、お客さまの声を汲み取り、こちらからアイデアを提案する

■図面からは読み取れないもの
案件を受注した後は、お客さまである日本水道事業(株)や自治体、水道局の方と、図面設計をするか打ち合わせを行います。実際に設備設置する現場に足を運ぶ、お客さまの声を聞く、お客さまの声を汲み取り、こちらからアイデアを提案する

■防食材料の研究職
上下水道・農業用水用のパイプをはじめ、産業設備や社会インフラ製品などの製造を行うメーカーです。私は研究職として、防食材料(埋設環境や屋外環境で、鉄管の腐食による劣化を防ぐこと)を目的とし内外面の被覆材料に用いられる塗料やコーティング材に用いる最適な素材の研究をしています。



■生産向上主任
入社の年ですが、防食材料グループでは、メンバーそれぞれが主担当のテーマの研究に日々励んでいます。研究は全て一人で終わるのではなく、互に意見を交換したり、実験の際にはお互いに協力してデータを取得し、自分の意見を積極的に発言し、チームを取り組むこともあります。また、工場内外で起きるトラブルやイレ

栗本鐵工所 パイプシステム事業部 研究部防食材料グループ 安東 尚紀さん



初仕事の成果が運用開始

発した時には達成感を感じられると思います。

■自分の軸を大切に

大学院では高分子化学を専攻していました。当社の技術系社員の中でも化学系出身は珍しいですが、面接の際に人事担当者に相談したところ、「防食材料なら専門分野を活かせる」とアドバイスをくれたことが入社につながりました。

若手・中堅社員が語る



極東技工コンサルタント
大阪本社設計部係長
村上 優希さん

村上 優希さん

■施設完成までの一連を担う
配水池や浄水場、主に土木構造物といった上下水道施設の設計について、計画から実施設計、施工管理といった施設の完成までの一連の業務を担当しています。

■施工者の質で意識変化
大学で土木を学んでいた時から入社したのが、水道のことはほとんど知らなかった。しかし、入社1ヶ月後の5月、ある日、配水池の配管設計業務の担当になりました。自分でも努力したつもりですが、会社とかなんか関係なく、資料作成や協議など、さまざまな業務に明け暮りました。そんな中でも、会社の先輩や上司から手取り足取りサポートしてくれたおかげで、役目を果たすことができました。私のコンサルとしての原点はここにあります。



施工まで含めた設計立案

■資格取得の援助も
私は入社8年目の社員ですが、水道のことはほとんど知らなかった。しかし、入社1ヶ月後の5月、ある日、配水池の配管設計業務の担当になりました。自分でも努力したつもりですが、会社とかなんか関係なく、資料作成や協議など、さまざまな業務に明け暮りました。そんな中でも、会社の先輩や上司から手取り足取りサポートしてくれたおかげで、役目を果たすことができました。私のコンサルとしての原点はここにあります。

水処理にまつわる エンジニアリングを知る オンライン1DAY仕事体験

水処理にまつわる短期集中型オンライン 1DAY 仕事体験

水ビジネスに関心をお持ちの皆さんを対象に、オンラインでグループワーク、具体的な技術職の業務体験などを通じて、水処理の事業フィールドを体験していただきます。私たちの水処理技術の裏側をお見せします!

▼日程・詳細はこちらから▼



マイナビ 2023



リクナビ 2023



水道機工株式会社

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 TEL. 03-3426-2131 FAX. 03-3427-3388
http://www.suiki.co.jp

- 〈事業内容〉
- 水道事業…確かな技術により日本の安全でおいしい水を支えています。
 - 下排水事業…汚水浄化、処理水の再利用など循環型社会の構築に貢献しています。
 - 産業用水・廃水事業…産業分野の水に関する多様なニーズに応えます。
 - O&M事業…技術とノウハウを活かし、上下水道施設の運転維持管理を行います。
 - 海外事業…合併事業、ODAを通じ、さまざまな国の人々に貢献しています。